

# 4

## 中学校各教科の調査結果の概要 及び今後の指導について



## 4 中学校各教科の調査結果の概要及び今後の指導について

### (1) 国 語

#### ア 個々の問題の概要及びその通過率

—評価の観点—	
話・聞	話す能力・聞く能力
書	書く能力
読	読む能力
言語	言語についての知識・理解・技能

学習指導要領の内容	問題番号	出題のねらい	評価の観点	設定通過率 (%)	通過率 (%)
話すこと・聞くこと(1) 1年ウ 2年イ	1	一 話の内容を聞き取る。	話・聞	90.0	84.8
話すこと・聞くこと(1) 1年ア		二 話し手の意図を考えながら聞き取る。	話・聞	85.0	54.4
話すこと・聞くこと(1) 1年イ		三 話の要点を正確に聞き取る。	話・聞	60.0	74.2
読むこと(3) 2年ウ	2	① 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す。	読	80.0	90.4
		② 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す。	読	80.0	95.1
言語事項(2) 1年ア 2年ア 言語事項(2) 1年イ 2年イ	3	一 ア 文脈の中で漢字[しっそ(質素)]を正しく使う。	言語	60.0	41.8
		イ 文脈の中で漢字[備(そな)えて]を正しく読む。	言語	70.0	91.3
		ウ 文脈の中で漢字[す(捨)てて]を正しく使う。	言語	70.0	83.6
言語事項(1) 1年イ 2年イ		二 文脈の中で語句や語彙を正しく使う。	言語	70.0	61.3
読むこと(3) 2年ウ		三 表現の仕方や文章の特徴に注意して読む。	読	65.0	68.4
言語事項(1) 1年イ 2年イ		四 文脈の中で語句や語彙を正しく使う。	言語	70.0	93.7
言語事項(1) 1年エ 2年エ・オ		五 文節を手掛かりにして文の組み立てをとらえる。	言語	60.0	44.9
読むこと(3) 1年ア 2年ア		六 文脈の中における効果的な語句の使い方をとらえる。	読	60.0	38.2
読むこと(3) 1年エ		七 文章の展開を確かめながら主題を考えたり、要旨をとらえたりする。	読	60.0	71.6
読むこと(3) 1年ア	八 文脈の中における語句の意味を正確にとらえ、理解する。	読	60.0	75.9	
読むこと(3) 1年エ	九 文章の展開を確かめながら主題を考えたり、要旨をとらえたりする。	読	65.0	83.8	
言語事項(2) 1年ア 2年ア 言語事項(2) 1年イ 2年イ	4	一 ア 文脈の中で漢字[遭難(そうなん)]を正しく読む。	言語	80.0	90.7
		イ 文脈の中で漢字[蓄(たくわ)え]を正しく読む。	言語	65.0	76.6
		ウ 文脈の中で漢字[よういん(要因)]を正しく使う。	言語	70.0	40.0
言語事項(1) 1年エ 2年エ・オ		二 文脈の中で語句や語彙を正しく使う。	言語	75.0	86.5
読むこと(3) 1年ウ 2年イ		三 論理の展開をとらえ、指示語の内容をとらえる。	読	80.0	57.7
言語事項(1) 1年エ 2年エ・オ		四 文節を手掛かりにして文の組立てをとらえる。	言語	65.0	62.5
読むこと(3) 1年イ		五 文章の展開に即して内容をとらえ、目的や必要に応じて要約する。	読	75.0	71.5
読むこと(3) 1年ウ 2年イ		六 論理の展開をとらえ、接続語の内容をとらえる。	読	75.0	89.7
読むこと(3) 1年ウ 2年イ		七 文章の展開を確かめながら、主題を考えたり要旨をとらえたりする。	読	65.0	28.0
読むこと(3) 1年イ	八 文章の展開に即して内容をとらえ、目的や必要に応じて要約する。	読	60.0	53.8	
読むこと(3) 1年ア 2年ア	九 文章の構成を正確にとらえる。	読	60.0	68.4	
書くこと(2) 1年イ 2年イ	5	自分の考えや気持ちを明確にして書く。	書	60.0	73.1

イ 個々の問題の教育事務所管内・地区別通過率

問題番号	問題の内容	設定 通過率	東 青 管 内			西 北 管 内					
			青森市	東郡		五所川原市	つがる市	西・北郡			
1	一	話の内容	90.0	85.7	85.9	83.4	84.4	87.0	85.4	81.4	
	二	話し手の意図	85.0	52.9	52.8	54.0	55.4	55.5	62.3	52.1	
	三	話の要点	60.0	75.6	75.7	74.0	72.3	76.2	70.8	69.4	
2	①	「くはへて」の現代仮名遣い	80.0	90.6	90.8	88.5	91.8	91.3	94.8	90.8	
	②	「うしなふ」の現代仮名遣い	80.0	96.5	96.5	96.6	96.1	97.0	97.0	94.8	
3	一	ア	「しっそ」の書き方	60.0	45.8	46.1	42.1	34.8	33.9	38.3	33.9
		イ	「備えて」の読み方	70.0	91.6	91.6	92.3	91.9	93.2	89.4	92.0
		ウ	「すてて」の書き方	70.0	85.1	85.2	83.8	83.8	86.8	79.6	83.0
	二	文脈中の語句の意味	70.0	62.9	64.0	49.8	59.5	61.2	59.0	58.3	
	三	表現上の技法	65.0	76.5	77.3	66.8	63.3	58.8	66.6	66.0	
	四	語句の効果的な使い方	70.0	94.0	93.9	94.9	94.3	94.8	94.5	93.8	
	五	文の組立て（主述の関係）	60.0	54.6	55.8	40.0	43.1	47.9	41.9	39.2	
	六	語句の効果的な使い方	60.0	35.3	35.7	30.6	37.9	39.0	36.5	37.6	
	七	展開に即した内容	60.0	73.0	73.1	71.1	71.6	74.6	69.6	69.7	
八	文脈中の語句の意味	60.0	74.6	74.7	74.5	73.9	73.5	79.3	71.6		
九	登場人物の心情と主題	65.0	84.7	84.9	81.7	82.9	85.6	81.2	81.4		
4	一	ア	「遭難」の読み方	80.0	90.2	90.5	86.4	92.7	92.1	92.7	93.3
		イ	「蓄え」の読み方	65.0	80.9	80.7	82.1	82.5	82.4	83.6	82.1
		ウ	「よういん」の書き方	70.0	51.6	51.9	48.1	34.0	38.4	33.4	30.2
	二	「渴きをいやす」の使い方	75.0	89.7	90.1	84.7	86.2	84.6	84.8	88.3	
	三	指示語（その）の内容	80.0	60.3	61.0	52.3	56.1	56.3	50.2	58.7	
	四	文の組立て（修飾・被修飾の関係）	65.0	64.2	64.9	55.3	58.5	60.7	56.5	57.4	
	五	展開に即した内容	75.0	73.8	74.4	66.4	67.2	68.8	67.2	65.8	
	六	接続語（しかし）の働き	75.0	90.5	90.8	86.4	89.8	91.0	89.4	88.9	
	七	要旨の把握	65.0	27.6	27.5	29.8	24.1	26.9	21.9	22.6	
八	中心語句を押さえた要約	60.0	58.1	58.2	56.6	52.6	51.3	57.4	51.5		
九	文章の構成	60.0	71.8	72.3	65.5	66.1	69.7	68.7	61.5		
5		条件に合った文章表現	60.0	74.8	75.3	68.1	72.9	72.6	70.8	74.1	
教 科 全 体			69.1	71.9	72.2	68.1	68.6	69.7	68.7	67.5	

(単位：%)

	中 南 管 内				上 北 管 内			下 北 管 内			三 八 管 内		県全体		
	弘前市	黒石市	平川市	中・南郡	十和田市	三沢市	上北郡	むつ市	下北郡	八戸市	三戸郡				
83.7	84.8	78.1	84.1	84.3	82.9	87.8	83.1	79.4	81.8	82.3	80.1	86.9	87.8	84.0	84.8
57.0	57.1	55.3	57.6	58.0	52.6	58.2	51.6	49.1	49.8	50.7	46.4	55.5	56.0	53.8	54.4
72.1	72.5	72.2	71.5	70.6	75.5	79.2	72.7	74.0	70.4	70.4	70.5	75.7	76.1	74.6	74.2
89.2	88.9	88.4	91.9	88.7	88.9	90.5	85.6	89.3	87.8	88.6	84.9	92.1	92.6	90.6	90.4
94.3	94.9	93.3	93.4	93.4	94.7	95.7	94.8	94.0	91.9	92.0	91.6	95.1	95.2	94.7	95.1
35.8	37.4	29.3	38.0	33.2	42.3	52.9	35.4	38.0	45.1	42.1	57.2	45.3	46.1	43.0	41.8
90.3	90.2	88.4	92.8	90.7	91.8	91.1	90.5	92.9	91.3	91.0	92.8	91.3	91.4	91.0	91.3
78.9	77.6	80.5	77.5	84.6	85.3	85.4	87.4	84.3	82.8	82.0	86.1	85.1	84.8	86.1	83.6
62.7	63.2	66.1	59.4	60.2	58.4	62.4	54.5	57.3	65.3	66.6	60.2	60.5	60.3	61.3	61.3
63.0	63.3	60.4	71.5	56.0	67.6	73.9	60.8	66.2	66.3	69.9	51.8	69.0	69.6	67.2	68.4
94.2	94.5	92.5	94.5	94.2	93.5	95.4	93.7	92.0	92.1	91.6	94.0	93.4	93.4	93.3	93.7
39.0	39.4	37.8	45.2	32.7	41.2	44.5	36.5	40.9	34.1	33.5	36.1	46.6	47.3	44.3	44.9
40.2	39.4	40.6	45.0	38.5	37.0	37.4	32.7	38.7	36.5	37.9	30.7	40.4	41.3	37.8	38.2
72.0	71.3	71.2	73.8	74.7	68.2	73.0	68.5	64.7	64.1	65.6	58.4	74.1	73.8	75.3	71.6
78.8	76.7	77.1	84.7	84.3	78.1	86.2	76.4	73.2	70.2	71.1	66.3	75.6	74.6	78.8	75.9
83.0	83.7	81.2	83.9	80.8	82.6	85.9	80.9	81.0	81.1	81.7	78.9	85.4	85.5	85.2	83.8
90.0	90.9	87.1	90.5	88.7	90.1	92.9	87.2	89.8	89.3	89.3	89.4	91.4	91.6	90.8	90.7
70.5	71.9	61.7	77.5	66.8	72.3	78.5	68.0	70.6	78.9	78.9	78.8	76.5	76.6	76.3	76.6
34.3	34.2	39.3	35.4	28.6	38.7	46.2	39.0	33.3	37.8	37.3	39.8	38.2	39.1	35.4	40.0
85.2	85.8	88.4	82.7	81.3	86.2	87.8	85.4	85.5	83.4	84.5	78.9	85.7	85.7	85.9	86.5
56.9	56.3	60.4	59.1	53.6	57.0	60.0	53.8	56.4	53.1	53.2	52.4	58.3	59.0	55.9	57.7
60.5	60.4	67.1	56.8	57.1	60.0	62.6	61.5	57.4	61.3	61.7	59.6	66.6	66.4	67.5	62.5
71.5	71.6	72.8	71.8	69.5	71.6	76.0	68.7	69.8	67.0	68.7	60.2	72.5	72.8	71.5	71.5
88.6	88.8	86.1	90.8	88.2	88.6	89.1	88.3	88.3	88.3	88.6	87.3	90.8	90.4	91.7	89.7
27.9	26.8	28.0	27.7	32.4	33.2	36.2	32.7	31.3	27.2	28.3	22.9	27.4	27.9	25.6	28.0
52.1	51.9	49.4	55.6	52.7	50.3	52.1	53.2	47.7	49.1	51.0	41.6	55.3	55.8	53.6	53.8
66.4	67.2	64.8	69.5	62.1	65.8	68.7	61.7	65.5	64.7	66.6	57.2	70.5	71.7	66.7	68.4
73.2	71.3	75.6	74.9	78.0	73.6	78.5	71.8	71.0	66.1	65.7	67.5	73.0	72.9	73.0	73.1
68.3	68.3	67.6	69.9	67.3	68.7	72.2	67.0	67.1	67.0	67.5	65.0	70.7	70.9	69.8	69.7

## ウ 内容・領域別結果の概要

内容・領域	問題数 (問)	通過率の高かった 問題(10問)	通過率の低かった 問題(10問)	各内容・領域 の通過率(%)	設定通過率 (%)
話すこと・ 聞くこと	3	1一	1二	71.1	78.3
書くこと	1			73.1	60.0
読むこと	13	2①、2②、 3九、4六	3六、4三、 4七、4八	68.7	68.1
言語事項	11	3一イ、3一ウ、 3四、4一ア、 4二	3一ア、3二、 3五、4一ウ、 4四	70.2	68.6

内容・領域別にみると、通過率の高かったのは、「書くこと」、「話すこと・聞くこと」、「言語事項」である。

設定通過率と比較すると、これを上回ったのは、「書くこと」であり、同程度だったのは、「読むこと」、「言語事項」である。また、下回ったのは「話すこと・聞くこと」である。

## エ 評価の観点別結果の概要

評価の観点	問題数 (問)	通過率の高かった 問題(10問)	通過率の低かった 問題(10問)	各観点の 通過率(%)	設定通過率 (%)
話す能力・ 聞く能力	3	1一	1二	71.1	78.3
書く能力	1			73.1	60.0
読む能力	13	2①、2②、 3九、4六	3六、4三、 4七、4八	68.7	68.1
言語につい ての知識・ 理解・技能	11	3一イ、3一ウ、 3四、4一ア、 4二	3一ア、3二、 3五、4一ウ、 4四	70.2	68.6

観点別にみると、通過率の高かったのは、「書く能力」、「話す能力・聞く能力」、「言語についての知識・理解・技能」である。

設定通過率と比較すると、これを上回ったのは、「書く能力」であり、同程度だったのは、「読む能力」、「言語についての知識・理解・技能」である。また、下回ったのは「話す能力・聞く能力」である。

## オ 個々の問題の主な誤答例とその原因

問題番号	通過率(%)	設定通過率(%)	主な誤答(無答を含む)例 (かっこ内の数字は、抽出した解答全体に占める誤答の割合・%)
1 二	54.4	85.5	自分自身で判断(10.5)、情報メディアのマナー(7.0)、情報を判断する(5.5)、正しいことを見分ける(5.5)、無答(7.0)
3 一ア	41.8	60.0	○素(17.5)、その他(3.5)、無答(29.5)
3 五	44.9	60.0	自転車が(13.0)、立ち(12.5)、立ちすくみ(10.5)、小学生(3.5)、その他(7.0)、無答(4.5)
3 六	38.2	60.0	食べてみたい(28.5)、食べたいけど食べられない(14.0)、怒られる(3.0)、変えない(3.0)、無答(4.5)
4 一ウ	40.0	70.0	用員(11.0)、容因(10.0)、容印(5.0)、その他(7.5)、無答(23.0)
4 三	57.7	80.0	体液(24.5)、海水(11.0)、その他(3.0)、無答(10.0)
4 七	28.0	65.0	G段落(52.5)、I段落(4.5)、B段落(3.5)、その他(7.0)、無答(2.5)

- 1 二について

誤答の原因として、話の中に出てくる語句には注意を払って聞いているものの、話し手の意図を考えながら聞こうとしていないため、正確に聞き取ることができなかったことが考えられる。

- 3 一ア、4 一ウについて

無答の割合がかなり高いことから、一字ずつの漢字は書けても語彙力が不足しているため、熟語として書けなかったことが考えられる。

- 3 五について

誤答の原因として、直前の「自転車が」を抜き出したことから、主述の照応関係の理解が不十分であることや、「立ち・立ちすくみ」を抜き出したことから、主語や述語の役割を十分理解していないために、問題文の文意を読み誤ったことが考えられる。

- 3 六について

誤答の原因として、アイスクャンデーを買わずに我慢しなければならなかった当時の「わたし」の体の状態を、直前の表現から読み取れなかったことや、前後の表現の読み取りが不十分なために、指摘された語句から食べたいという思いだけを読み取ったことが考えられる。

- 4 三について

誤答の原因として、比較すべき内容の「ほ乳類の体液に含まれる塩分」と「海水に含まれる塩分」との関係が正しくつかめなかったことが考えられる。

- 4 七について

誤答の原因として、A段落が文章全体を貫く問題提起の段落であることをとらえられなかったことや、「簡潔にまとめられている段落」という指示に注意を払っていないことが考えられる。

## カ 今後の指導について

内容・領域別にみた課題として、昨年度同様、「読むこと」、「話すこと・聞くこと」の充実が挙げられる。

今後の学習指導において、「読むこと」では、文学的文章において「文章の展開に即して場面の移り変わりをとらえたり登場人物の心情をとらえたりすること」、「語句の意味に着目しながら表現の仕方や文章の特徴に注意して読むこと」、「叙述に即して展開を押さえながら、書き手の思考や心情に迫り自分の意見をもつこと」、また、説明的文章において、「文章の中心の部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分けて、文章の構成や展開を正確にとらえること」、「文章の展開に即して内容をとらえ、目的や必要に応じて要約すること」の指導の充実を図る必要がある。

さらに、「話すこと・聞くこと」では、「話し手の意図を考えながら聞き取る力を育てること」の指導の充実を図る必要がある。

評価の観点別にみた課題としては、文章の展開に即して場面の移り変わりをとらえたり登場人物の心情をとらえたりすること、文章の中心の部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分けて、文章の構成や展開を正確にとらえること等の「読む能力」の育成と、話し手の意図を考えながら聞き取る力を育てること等の「話す能力・聞く能力」の育成が挙げられる。

今後の学習指導においては、「読む能力」の育成については、文学的文章において、前後の文章の内容をしっかりと読み取り、叙述に即して登場人物の心情を読み取るよう指導すること、語句の意味をしっかりと押さえながら、表現の仕方や文章の特徴に注意して読むよう指導すること、叙述に即して展開を押さえながら、書き手の思考や心情に迫り自分の考えをもつことができるよう指導することが大切である。また、説明的文章において、文章の構成や展開を正確にとらえたり、要約したりするために、指示語や接続の言葉、文末表現だけでなく、例の挙げ方、強調表現等にも着目させ、より丁寧に表現を吟味させる指導が必要である。その際、形式的な構成の理解にとどまることがないように、文章の構成や展開の仕方について、自分の表現活動に結び付ける指導が大切である。

なお、何を問われているのか、何についてどのように答えるのか、出題のねらいや意図を理解させてから、考えたり答えたりするよう指導することも大切である。その際、字数・使用語・文末などの条件に着目させるなどし、多様な形式に「段階的に慣れさせる」ことが大切である。

「話す能力・聞く能力」の育成について、話の内容をとらえながら適切に聞き取る力を身に付けるために、意図や目的を考えてメモを取るなど、具体的な言語活動を通して聞き取る力を育成していくことが大切である。

個々の問題の誤答傾向からみた課題としては、「書くこと」については、収集した情報をより的確に整理して自分の考えを書く力の育成が挙げられる。

今後の学習指導においては、根拠を明らかにして書く力や論理の展開の仕方などを工夫して書く力を高めるために、図やグラフなどを含めた多様な素材を学習に用いながら、自分の意見を相手に効果的に伝えるための文章表現力を育てていくことが大切である。

漢字の読み書きについては、日常の生活の中でよく使われる漢字など、読んだり書いたりす



る機会が多い言葉については、十分定着が図られている。しかし、使用頻度の低いものについては、無答の割合がかなり高くなっている。

今後の学習指導においては、それらを意図的に取り上げ、具体的な使用場面に即して使用できるようにするために、それらを繰り返す場の工夫や書写との関連、家庭学習の活用等の工夫が必要である。

言語事項の文法に関する知識については、「主語と述語の関係」の理解が、課題として挙げられる。

今後の学習指導においては、言葉の決まりに関することについての系統性をとらえ、意図的に繰り返し学習する場を設定することで、確実な定着を図ることが大切である。

設定通過率との比較からみた課題としては、「読むこと」、「話すこと・聞くこと」、「言語事項」の充実が挙げられる。特に、「読むこと」において、文章の構成をとらえ、展開に沿って要旨を把握する問題では、設定通過率を65%としたが、実際の通過率は28%にとどまった。

今後の学習指導においては、段落相互の関係を正しく押さえ、より大きな意味のまとまりごとに文章における役割をとらえる力を育成することが必要である。

## キ まとめ

「書く能力」については、良好である。昨年度同様、設定通過率を大きく上回り「書く能力」の育成が図られている状況が見られた。また、「言語事項についての知識・理解・技能」についてもおおむね良好である。しかし、「読む能力」については課題も多く、指導の改善・充実が必要である。

今後は、文章の展開に着目させ、主題や要旨を読み取っていくこと、文章の内容や形態に応じた読み方を身に付けさせ、言語事項をはじめとする読解のための基礎的な力が文章の構成や展開をとらえ、内容把握や要約に生かされるよう指導していくことが大切である。発達段階に応じて、読むことの対象を様々な文章に広げ、主体的に文章や資料を読んだり、評価したり、簡潔に書いたりする能力を育成するための学習指導法の工夫が必要である。

